



## 今年は楽しいことがたくさんあった年でした そして発刊30号おめでとうございます

幹事長 S32 高森重視

そろそろ、晩秋を迎える頃かと思います。

コロナもやっと峠を越えましたが、依然予断を許さず、また罹患されました多くの方には心よりお見舞い申し上げます。

まずは本年7月、3年ぶりに東京九学会総会・懇親会が規模、進行ともにコロナ前と変わらぬ形で無事に開催されたことを本当に喜ばしく思っております。

本校からおいで頂いた小副川幸孝院長先生を始め、来賓の方々、そしてこの状況にも関わらず参加を賜りました卒業生の皆様、また開催を支えて頂きました幹事の方々に心より感謝申し上げます。振り返りますと、開催の実現に向け1年前に幹事会を再開しましたが、出席者がかなり少なく、多少の不安も漂っておりました。その中で森田茂先輩(S4回卒、88歳、東京九学会元副会長)には欠かさず出席頂き、こんな時だからこそ頑張るんだ、と仰っておられるような大先輩の背中に気概を感じ、前向きな気持ちにさせて頂きました。たいへんありがたく思っております。

また翌月には、7年ぶりの甲子園出場。初戦ではグラウンドでの応援も叶い、勝利の喜びを分かち合うことができました。

九学の校歌を聞くたびに、あー、卒業生でよかったと幸せを実感いたします。そしてベストエイトに残る大活躍。選手、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

また、10月3日には、村上宗隆選手の日本人初の56号ホームラン、22才最年少での三冠王達成！最終試合、最終打席という大舞台での達成は、コロナで暗くなった世の中の雰囲気を一掃する大偉業だったと思います。私だけではなく九学関係者、OB・OGの多くが彼一人に注目し、毎日やきもきしながら応援されていたのではないのでしょうか。我々だけでなく日本中の心を引きつけた最注目のお出来事だったといっても過言ではありません。村上宗隆選手、本当におめでとうございます。

さて、「東九通信」は今号で記念すべき第30号となりました。年に2回の発行を考えますと15年間になります。発起人の中心人物は、現職のままお亡くなりになりました幹事長の内空閑裕明先輩です。先輩の九学に対する思いは本当に大きなものでした。

その後仲睦まじき奥様が、内空閑先輩のお気持ちを察して、九学100周年の折に最も大きな寄付をされたのも九学愛の賜物であると思っております。

以降、「東九通信」には多くの方の取り組みをいただきました。「オカヤマくん 228.5cmの世界」の連載にご協力頂い



た副会長の岡山恭崇先輩、食レポ、広告を担当頂いた本郷久さん、英語教室のマシュー（マツ）パーゼンス君、その他、執筆や広告掲載にご賛同頂きました多くの方々、もちろん母校、同窓会本部の協力がなければ発行の継続は厳しかったと思います。

また発行人として緒方昭義元会長から連川悠一前会長、そして島本誠会長と続く会長の強い意志もございました。

私も編集長のご意向により、年に一回ここで投稿させていただいております。これが毎回かなりのプレッシャーで、どうにも文がまとまらず、大抵2週間位はウロウロしております。そのような内情ではありますが、私にとりましても、過去の内容を振り返りますと、とてもいい思い出となっております。

最後になりますが、「東九通信」第30号の節目にあたり、ここまで編集の労を頂きました竹熊誠先輩、池永清先輩、高木宏一先輩、製版の岡本明さん、赤星貴司さん、投稿を頂きました多くの方々、そして企画、取材、編集と全てを取り仕切りまとめて頂いている尾上賢先輩に心より感謝申し上げます。おかげさまで後世まで残せる同窓会誌と自負しております。「東九通信」は皆様のご協力を賜りながら、これからも発行をかさねてまいります、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

来年の東京九学会総会・懇親会は7月1日土曜日夕刻、学士会館です。ここでまた沢山の絆が生まれることを期待してやみません。多くの方のご来場お待ちしております。

=同窓会事務室の窓から=

S24 小手川 勲

九州学院同窓会室の窓を開けると爽やかな秋風が入ってきます。いつの間にか季節が移ろいで気が付けばもう神無月に。



8月13日 甲子園 九州学院—帝京第五高校戦にて

今年の夏は全国的には、コロナ禍、猛暑、自然災害など厳しい日々でしたが、九州学院関係者にとっては実に「熱い」夏でもありました。7年ぶりの甲子園出場でのベスト8に残る活躍で、在校生・保護者や教職員は元より全国の同窓生が久々の歓びに心を一つにすることが出来ました。甲子園の開会式前に野球部員が新型コロナウイルスに集団感染し、一時は出場が心配される事態となりましたが、幸いにも高野連の配慮により参戦が許されたことに感謝です。選手・監督・指導者などすべての野球部関係の皆さん、本当にお疲れ様でした。

先日の同窓会常任幹事会（学年代表者会）の際には高松九州学院事務長から「同窓会の皆様のご協力のお陰で、多くの甲子園募金が寄せられたことに心より感謝致します」というご挨拶を頂きました。また、関西九学会の皆様には甲子園での試合当日には入場チケット配布の陣頭指揮を執られるなど、本当にお疲れ様でした。

九学の「熱い」夏のもうひとつの嬉しい要因は、甲子園での九学の初戦前の8月2日にプロ野球ヤクルトの村上宗隆選手がプロ野球史上初となる5打席連続本塁打の新記録をはじめとする大活躍をし、その実弟慶太選手が九州学院の4番打者という相乗効果で甲子園での九学チームがとりわけ全国的に注目をされたことです。ヤクルトの村上選手はその後進化を続け、最終試合で56本目の本塁打を打ち、王選手を抜いてシーズンでの日本選手最多本塁打の記録を塗り替えるという大偉業を達成。さらに史上最年少の三冠王に輝き、今やプロ野球史上屈指の大打者と称される存在となったのです。そのお蔭で九州学院の名前が全国に響くことは誠に誇らしいことです。



さて、前述の同窓会常任幹事会では「大同窓会総会・懇親会」を来年4月21日（金）に4年ぶりに開催することが決定しましたので、皆様のご協力を宜しく申し上げます。また、若手の会主管の「チャペル成人式」（S73回のみ対象）も1月9日（月・祭日）に、熊本市主催「はたちの記念式典」に合わせて行なうこととなりました。10月末頃に学院から届けられる「九学通信（第134号）」の「同窓会だより」

青少年特定非営利活動法人  
**青少年スポーツの  
振興を図る会**

S25 田山淳朗

川崎会計事務所

税理士 川崎 義治

東京九学会監査役(S11)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5丁目24番12号 西池袋ローヤルコーポ902  
TEL (03)3984-2858 FAX (03)3984-2868 URL <http://www.kkj.biz>



森哲郎氏 (S24) 寄贈の達磨  
すぐ両目が入ります。

でそれらの詳細をご覧ください。また、各分野での同窓生の活躍なども掲載していますので是非お楽しみに。

コロナ禍はまだまだ心配ですが、政府のこの疫病対策も大きく方向を転換しつつあります。まさに

ウイズコロナの時代です。これまで自粛を続けて来た同窓会の各支部・学年・職域などの同窓会も次第に元の活発さを取り戻していくことが期待されています。どうか、今後とも宜しくお願い致します。

熊本の地より 皆様のご健康をお祈り致しております。くれぐれもご自愛下さい。

九州学院同窓会広報委員長

### 令和4年度会員総会



“いつくしみ深き友なる イエスは”

於 学士会館

3年ぶりの会員総会は未だコロナ禍残る中、出来る限りの対策を施して、学生約30名を含む約110名の参加を得て7月2日5時受付開始、5時30分定刻に讃美歌312

番の斉唱で始まりました。

島本会長、来賓・小副川院長、阿部校長の挨拶のあと令和3年度事業・活動報告、総会資料会計報告、監査報告、令和4年度事業計画等が原案通り承認され、掉尾を飾って岩下真麻さん (J59) のミニピアノコンサートがあり、ショパンの「子犬のワルツ」の演奏、シューマンの「トロイメライ」を題材とした、曲の立体構成の話がありました。

休憩を挟んで6時から懇親会となりました。司会進行は松尾秀幸さん (S35)、来賓 挨拶、学生女子 から、森田 茂先輩 (S4) に花束贈呈があり、乾杯は 廣島秀二 同窓会長 (S26) でした。続いて、小手川先生から来賓の紹介を頂きました。

コロナ対策のため、テーブルにはアクリル板が立ち、バイ



左から：小手川 勲 同窓会広報委員長、東海大 竹内 徹 柔道部師範、廣島秀二 同窓会長、石橋金治 先生、村上洋也 事務室参与、山口主子 関東のいばら会監査、櫻田勢津子 関東のいばら会会長



バイカー選手、ウルフ選手等名だたる名選手を育てられた竹内 徹師範と九州学院柔道部OB・OG

キングの料理は手袋をはめて取る宴席ながら、和やかに宴が進むうち、森田 茂先輩 (在学当時 演劇部、今、成田屋笑仙一座 座長) の七福神 大黒天に扮して舞う「大黒舞」が披露され、各テーブルに、本総会当日のため専用にお作り頂いた「笑門来福」が配られました。

時が過ぎ終宴近く学生全員が登壇、前・後列 入れ替わって一人ずつ挨拶。



日本の伝統芸能普及集団

**喜楽會**

成田家笑仙一座

会長・座長 **成田家笑仙**

こと **森田 茂 (S4)**

〒332-0012 川口市本町3-1-15 タカラサンロージェ 1103  
TEL/Fax:048-234-8241 携帯:090-9973-0389

寿司・季節料理  
くまもと料理

**あづま**

TEL 03-3213-2728 (休日:土・日・祝)

理 容

**ニユー東京**

TEL 03-3215-2538 (休日:日・祝)

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1 (新国際ビルB1) **吉村 勉 (S9)**



フレーフレー九学!

挨拶終了後そのまま、井澤浩一さん(J4 東芝管弦合唱団員)指揮、岩下真麻さん伴奏で、校歌斉唱に移り、全員で“青蕪に歴史の跡残す”を高らかに歌いました。

エールは片岡茂元

応援団副団長(S32)が務めました。

皆さん 来年7月1日 この場で逢いましょう!

## 2022年「関東のいばら会」総会・懇親会に出席

常任幹事 S20 池永 清

7月9日(土) 11時半、飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントに於いて「関東のいばら会」(ルーテル学院・九州女学院同窓会「のいばら会」の関東支部)の総会・懇親会が開催され、私は会長代理として出席いたしました。受付で検温結果を記入するなど、徹底したコロナ感染予防対策がとられる中、約50名が参集しました。

総会は讃美歌312番(いつくしみふかき〜)と主の祈りで始まり、櫻田勢津子会長(高25回生)の挨拶に続き役員改選、会計報告・監査等の議事が行われました。

総会終了後は懇親会に移り、熊本から来賓として参加した内村公春院長(元九州学院院长)、鶴山克郎中学・高等学校長、村本聡子のいばら会会長、野島規子同副会長の祝辞・挨拶や紹介があり



した。また東京熊本県人会からは守田明法事務局長が来賓として参加されました。



懇親会では「九州女学院・ルーテル学院 映像でたどる100年」(製作 関東のいばら会)の放映、卒業生の藤澤幸義子さんの声楽、塩木もこさんのピアノ演奏が行われ、楽しいひと時を過ごしました。

会の最後は讃美歌405番(かみともにいまして〜)を歌い、なごりを惜しみながら2年後の再会を誓いあいました。

## 日本バンタム級チャンピオン

堤 聖也さん(S66)からの手紙



審判が私の身体に割って入った瞬間、勝利を確信したことにより、全身に電気が走ったような感覚になりました。

達成感、開放感、喜び、安堵。複数の感情が同時に沸き上がり、高揚する中、チャンピオンになったことを噛み締めていました。

ボクシングを始めたのは中学2年生の頃。ひょんな事からボクシングに興味を持った私は、近所のジムに通い始めました。高校時代が全国3位、大学進学後も全国2位が最高位と、夢の日本一にはなれずでした。

大学卒業と同時にプロ入りし、最初の一年間は順調でした。二年目以降は試合がなかなか決まらず、後の東洋王者、元世界王者との二戦を引き分けた以後、コロナウイルスの影響もあり、約2年間試合をできずにいました。

試合がなければ収入もないので、生活の為にアルバイトを三つかけ持ちしていました。早朝から夕方まで働き、ジムに着く頃はすでに身体は疲弊していました。

何故東京にいるか分からなくなる時もありました。ボクシングをする為に故郷を離れたのに、トレーニングすらまともに出来ない状況に嫌気がさした時もありました。

しかし、明確な目標をもつことで耐えることが出来ました。

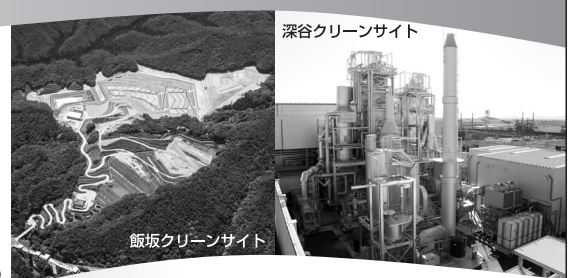
## 廃棄物処理を通じて社会に貢献します

株式会社クリーンテック

飯坂クリーンサイト  
ISO 14001 認証取得  
〒960-0261  
福島県福島市飯坂町中野字赤落27番  
TEL:024-541-2811 FAX:024-541-2510  
〒163-0712  
東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル12階  
TEL:03-6304-5010 FAX:03-5323-6750

株式会社クリーンテックサーマル

深谷クリーンサイト  
ISO 14001 認証取得  
〒366-0812  
埼玉県深谷市大字折之口1985  
TEL:048-572-3445 FAX:048-572-3446



相談役名誉会長 反後 堯雄 (S6/昭和29年卒)

クリーンテックグループホームページURL <http://www.clean.ne.jp/>

“必ず来るその日”の為に、チャンピオンになる為に必死に毎日を生きました。

2022年6月23日、日本王座初挑戦。終始、試合をコントロールし、8RTKO勝利で、初めて日本一になりました。

生きていたことに意味があったと感じることが出来ました。先が見えない時期も、変わらず応援して頂いた方に恩返しすることかできました。

何より、ボクシングを始めた時からずっと支えてくれた母に、ベルトを渡すことが出来ました。

「第75代日本バンタム級王者」伝統ある階級で一番になれた事は自分の誇りです。

まだまだ夢の途中ですが、関わって下さる方への気持ちを忘れず、世界を獲る日まで毎日を大事に生きてゆきます。

### 井野洋輔・祐輔 (S56) 双子兄弟が フジサンケイクラシックに登場



マンドレーナメントを通過した弟の洋輔さんと、オーストラリア選手のキャディを務めたプロキャディ 兄の祐輔さんが9月1日～4日、富士桜カントリー倶楽部で行われたフジ

サンケイクラシックに登場して話題となりました。双子でプロゴルファーとプロキャディの組合せは珍しいのだそうです。

### IPPEI MATSUMURA 3RD EXHIBITION

9月10日～22日 松村一平さん (S66) の一平展が、清河白河駅近くのU gallery & Cafeで行われました。松村さん



は、九学ラグビー部出身のRuggerで、一平展のポスター(前頁の縮小コピーでは小さくて見えませんが)で人物が履いているストッキングに九学の校章が描かれています。それにしても、こういう精緻

な絵をiPadで描かれるとは驚きです。

以下、松村さんの自己紹介と作品の一例です。



IPPEI (松村一平) /26歳 /熊本RS/九州学院/明治学院大 今年2月、レンジローパークラシックが欲しいという強い思いから、まずはその思いを絵にしてみようとiPadに描いてみたことが始まりでした。これが趣味となり今では、愛車を描くご依頼や、会社や飲食店のロゴ、デザインの依頼、アパレル制作に発展しました。

来年の1月には東京で『熊本』をテーマにした個展を開催します。OBの皆様にもお越し頂きたく存じます。そして是非、この活動を応援して頂きたいです。

今後ともよろしくお祈りします。



*Ippei*

### 石坂優季&岩下真麻 ヴァイオリン・ピアノ デュオ コンサート

岩下真麻さん (J59) 企画・出演の標記コンサートが9月11日 所沢 松明堂音楽ホールで開催されました。岩下さんのピアノと、東京芸大で一緒に、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団の若手ホープ 石坂優季さんのバイオリンとの合奏は、まるでオーケストラのように聞こえ、曲目説明の学識豊かでウイットに富むトークも大変楽しめるものでした。

### とちぎ国体高校野球

10月2日、宇都宮清原球場で行われた1回戦で、九州学院は星光学院に4-6で惜敗しましたが、史上最年少3冠王 東京ヤクルトスワローズ 村上宗隆選手 (S70) の弟 慶太君 (3年生) は2安打・1ホームラン・3打点の活躍でした。

(九州学院 おしらせ より)

多摩八十八ヶ所第一番札所  
真言宗豊山派  
**安養寺**  
住職 東京九学会会長 島本誠永 (S30)  
〒180-0002  
東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21

東京九学会  
幹事長 **高森 重視**  
(S32)

**\*連載:食レポ 九学卒業生経営のレストラン  
\*その7 熊本郷土料理 彦もん**



7月23日の晩 編集部本郷、高木、尾上3名は 島本会長のお援けを得て、S41久保一篤さん 家族経営のお店“熊本郷土料理 彦もん”(東京メトロ丸ノ内線 南阿佐ヶ谷駅から青梅街道を荻窪方向に約3分歩いてガストの先の路地を右に曲がってすぐ)で食レポ取材を行いました。

天草の海岸にありそうな広く開放のお店。

父上で店長の泰四郎さん(写真)の向かって左手にある看板の彦もんメニューに:馬刺し3点盛/¥2,300、串3点盛/¥1,100 馬ホルモン焼/¥880 赤牛ハンバーグ/¥1,300、豚ホルモン 煮込み、豚足¥550、季節限定メニュー:肥後むらさきナス一本焼もみ炒め、白おくら 素焼き、特製チャンポン¥950 とあります。



お店で賞味したものは からし蓮根、馬刺し3点盛、天草大王焼き鳥、白おくら、長さ30cmに及ぶ肥後むらさきナス。何れも生産者厳選の熊本産ということです。

それに、肥後米のご飯に焼き魚、みそ汁。イサギー旨かった!(定休日毎週月・火曜日 電話 03-6915-1107)

**“As the world changes, so will Japan”  
「世界は変わる 日本も変わる」**

S54 マシュー (マツト) バーゼンス

I absolutely love traveling and experiencing new things. It opens my eyes to new ideas and gives me the opportunity to reflect on myself and the world around me. I was lucky enough to travel to Thailand in September. Not only is it becoming so much easier to travel internationally, but many things have also progressed for the better.

The most obvious change is the way we deal with COVID. For both Japan and Thailand, you no longer need pre-departure negative COVID tests, testing on arrival is also not required, and you don't have to do quarantine any more. What I found fascinating about Thailand is that they've also got rid of immigration cards. This means you can just walk straight out of the airport without any documentation. In Japan, they have also digitalized the quarantine documentation which no one really knows about yet. If you are coming back into Japan, I very much recommend downloading the “Japan Customs App” since the line is separate and you can leave the airport faster than others.

Thailand is already fully open to tourists and the airport was extremely busy! Lots of people were arriving from different countries and all the shops were open. It's very clear that people from Europe or the US have learned to live without wearing masks, and I could see a lot of Japanese people happy to remove their masks inside the airport since there is no social pressure to wear one. In the city, most of the body temperature machines are gone and you are free to go where you like.

Japan has also advanced with cashless payment options and QR code funds transfer, however I was surprised to see in Thailand that they even have QR codes for their personal bank accounts making it easier to send cash to your friends. There's even an option to withdraw cash at an ATM without your bank card, but

翻訳

竹熊 誠 (S15)  
TAKEKUMA, Makoto

〒261-0013 千葉県美浜区打瀬3-1-3 プエナテラーサC-711  
TEL・FAX (043) 299-7521  
E-mail: mtakekuma@ss.em-net.ne.jp



〒104-0061 東京都中央区銀座8-5-22 805銀座ビル 3F  
TEL 03-3571-0711

本郷 久 (S32)

using your mobile phone to scan and withdraw instead! I also learned about a new app called "Revolut" where you can exchange money at a very low fee and withdraw the cash at an overseas ATM using a special card which charges no fees.

As Japan opens up to the world again, I can already see how the country will change and adapt over the next few months. This is a very unique time to be living and I am excited to see how society will continue to evolve and learn from each other!



旅行や新しいことを経験するのが大好きです。新しいアイデアに目を向けることができ、自分自身や周りの世界を振り返る機会になります。幸運なことに、9月にタイを旅行することができました。海外旅行がとて簡単になっただけでなく、さまざまなことがより良い方向に進んでいます。

一番わかりやすい変化は、COVID への対応です。日本もタイも出国前の COVID 陰性証明書が不要になり、到着後の検査も不要になり、隔離も不要になりました。

タイで魅力的だったのは、入国審査カードが廃止されたことです。つまり、何の書類も持たずに空港からそのまま出てこられるのです。日本でも検疫の書類もデジタル化されましたが、まだ誰もそのことをよくは知りません。

日本へ帰国される方は「税関アプリ」をダウンロードしておくと、列が分かれていて他の人よりも早く空港を出られるので、とてもおすすめです。

タイはすでに観光客に完全に開放されており、空港は非常に混雑していました！ 様々な国からたくさんの方が到着し、すべてのお店が開いていました。欧米の人はマスクをしなくても生活できるようになっているのがよくわかりますし、日本人はマスクをしなければいけないという社会的プレッシャーがないため、空港内でマスクを外して喜んでいる人をたくさん見かけました。街中では、体温計がほとんどなくな

り、自由に好きなところに行けるようになりました。

日本ではキャッシュレス決済や QR コードによる送金も進んでいます。タイでは個人の銀行口座の QR コードまであり、友人への送金も簡単にできることに驚きました。さらに、銀行カードがなくても、携帯電話でスキャンして ATM で現金を引き出すこともできます。また、「Revolut」というアプリを使うと、手数料がとても安く両替でき、海外の ATM で手数料無料の専用カードを使って現金を引き出せることも知りました。

日本が再び世界に開かれ、これから数ヶ月の間に日本がどのように変化し、適応していくのか、私にはもう見えています。社会がどのように進化し、互いに学び合っていくのか、とても楽しみです。

\*マツ君が、DeepL という翻訳ツールを使った訳をつけて呉れました。一か所 三文字だけ追加していますが、機械翻訳でこんなに上手に翻訳できるとは思っていませんでした。如何でしょうか。(編集部)

令和4年度東京九学会役員

役職名	氏名	卒年	担当
名誉相談役	中園達哉	(旧 28 回卒)	
相談役	緒方昭義	( S 6 回卒)	
顧問	連川悠一	( S 11 回卒)	
会長	島本 誠	( S 30 回卒)	
副会長	岡山恭崇	( S 25 回卒)	
幹事長	高森重視	( S 32 回卒)	
副幹事長	下田克彦	( S 33 回卒)	議事録
副幹事長	松尾秀幸	( S 35 回卒)	
会計	岡本 明	( S 34 回卒)	
監査役	川崎義治	( S 11 回卒)	
常任幹事	池永 清	( S 20 回卒)	
常任幹事	尾上 賢	( S 6 回卒)	東九通信
補佐	竹熊 誠	( S 15 回卒)	東九通信
常任幹事	高木宏一	( S 30 回卒)	
補佐	マシュー・バーゼンス	( S 57 回卒)	東九通信
常任幹事	宮田哲治	( S 43 回卒)	ホームページ/広報
常任幹事	本郷 久	( S 32 回卒)	企画 / 渉外
常任幹事	永谷隆史	( S 39 回卒)	
補佐	野口裕生	( S 62 回卒)	
常任幹事	赤星貴司	( S 36 回卒)	総務
常任幹事	坂本泰亮	( S 51 回卒)	KG 会担当

慣れにし学びの 家をわすれず おしへの御親の めぐみを思い・・・

まなびの窓にて かたく結べる むつみの鎖は 解くることなし

S6,J4 東京久憎会会員 東九通信編集幹事 尾上 賢



S4回卒業 小崎義昭先生撮影 1965年頃の九州学院建物群 九州学院100周年記念歴史資料・情報センター 歴史余話「第三十三話」より

令和5年度会費・懇親会費・寄付納入者(順不同)

卒業回	氏名	卒業回	氏名
J4	安岡和男	S27	古田清志
J4	井澤浩一	S28	藤田仁彦
S1	藤堂匡一	S29	水高木
S4	森田茂	S30	高木楓
S6	亀尾要道		大竹内
	鍋島任		大竹本
	反後堯	S32	大森尚
	尾上雄		大森山
S7	谷山準二		大徳村
S7	太田黒		兼本岡
S8	須子政		片郷
S9	木村正		今高
S10	山下哲		森田
	西田忠	S33	下岡本
	岩崎高	S34	岡尾秀
S11	米村博	S35	松谷川
	連川悠	S36	長須一
S14	川崎義一	S37	奈井誠
	井上豪		七池田
S15	村東精	S39	永谷島
	山本直	S41	中宮利
	坂井秀	S43	宮田哲
	岡田享		松木川
S18	竹熊一	S49	森川修
	橋本彦	S51	坂本泰
	池田十		坂本口
S20	藤原成	S62	野口裕
	前田明	S63	池永清
S21	小柳豊	S70	山中安
	平井伸		安あ
S22	古場一		同窓
S23	杉本洋		三井
	御法隆		岩下
S25	中路孝		宮本
	長田幸		宮本

高額寄付納入者(順不同)

卒業回	氏名	寄付
S11	連川悠一	8,000円
S15	山本直一	3,000円
S15	坂井秀昭	3,000円
S20	池永清	4,000円
S20	小柳豊己	3,000円
S30	島本誠	500,000円
S32	徳山雅一	3,000円
S32	高森重	100,000円



ライトアップ九州学院

♪ご寄付有難うございます。

目下、会の運営は、総会案内の際にお願いする会費に頼っております。会員は650人を数え、連絡・各種書類・東九通信の送付は全員に行います。

一方、連絡に返事を下さる方は90人程度です。昨年、一昨年はCOVID19のため総会・懇親会を開くことが出来なかった為、会費を頂戴する機会がなく、この先、会の正常な運営が危ぶまれる状態でした。そこで、この度、会長、幹事長はじめ、有志の方から多額のご寄付を頂き、今年は、万事不自由な環境下にありながら、無事令和4年度定時総会・懇親会を多数の新卒学生の参加も得て、しっかり開催することが出来ました。今後も、ますます多くの若年層の参加を得て会を健全に運営して行くことを志向します。ついては、かねて提案されていた特別会員制度等、会費増収の施策が必要です。その節はご協力方、宜しくお願い致します。

\*\*\*\*\*

後記：東九通信は今号で30号となりました。発刊の由来、経緯、皆様から頂いたお助けについては、巻頭言で高森幹事長がお述べ下さっておりますが、編集部よりも、厚く御礼申し上げます。今号については、コロナ禍未だ去らぬ中、よい事、嬉しいことが沢山あって、報告事項も多くなり、折角頂戴した記事が一部 次号送りとなりました。編集不手際申し訳ございません。私事ですが、9月の末に3年振りに熊本に行き、その変貌・発展に驚きました。交通センターは、桜町バスターミナルになり、なんと熊本城本丸 天守閣にエレベータで最上階まで上がれます。本通信も時代に遅れず、常に、郷土、母校、同窓生の活力をお届けし、情報共有に資するものでありたいと願っております。(尾上)



URL : <http://www.kg-kai.jp/>

九學東京若手の会 KG会

代表 坂本 泰亮(S51)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オピカ内  
 TEL : 090-3492-5372 E-mail : s51sakamoto@kg-kai.jp

メール用QRコード



O P I K A

株式会社 オピカ

CREATING FUN TOGETHER

岡本 明(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 Tel 03-5300-0722 Fax 03-5300-0723 <http://www.oka-p.co.jp>